



RIテーマ

会報

クラブ 会長テーマ

『家和万事成』『利他の心』で親睦と奉仕に自ら率先しよう



2006-11-1 第766回例会 NO. 17-17 2006-11-8 発行

◎司会 SAA委員会 杉田 誠

◎点鐘 会長 関岡 俊二

◎国歌斉唱

ロータリーソング『奉仕の理想』

ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 関岡 俊二

也区R財団副委員長 福井 衛 様

◎会務報告 会長 関岡 俊二

- ・11月8日(水)、例会終了後1時30分より、定例理事会を開催します。
- ・東京多摩プロバスクラブより、12月16日(土)午後1時30分からバルテノン多摩4階会議室において、中央大学法学部教授 藤本哲也先生をお迎えした公開講座「最近の青少年の問題行動に対する学校、家庭、地域社会のあり方」のご案内が届けられました。尚、当クラブに対し、協賛の依頼も参っております。
- ・多摩青年会議所より、11月22日(水)午後7時30分より、多摩市関戸公民館で行われる「まちづくり勉強会」のご案内がきております。テーマは「みつめなおそう!多摩~魅力あるまち永遠~」だそうです。本日(11月1日)付、多摩ニュータウンタイムズに「障がい者テニススクール」の案内が掲載されました。宮村会員には今年もまたお世話になりますが、会員の皆さんの協力をよろしくお願いします。

❖生奥和尚の3分間泡話❖

『歓びの心』 ロマンローラン

人の魂はぜひとも歓喜を必要とするので、
 歓喜をもてない時は、ぜひともそれを
 作り出さなければならない。

ロマンローラン(仏)・・・ベートーベンなど、数多くの評伝を書かれた作家で、ベートーベンが立派な曲を創れたのは歓びの心があったからだと評しています。普段の何気ない出来事の中から「ちょっとした歓び」

を感じ取れるよう心がけて参りたいものです。

幹事報告

幹事 萩生田政由

- ・本日配布の「765 回例会会報」に11月例会予定の変更・訂正が記載されています。ご確認願います。
- ・本日(11月1日)午後5時30分~7時、聖蹟桜ヶ丘駅周辺にて「喫煙マナーアップキャンペーン」が実施されます。時間の都合が付く方は是非ご参加下さい。
- ・地区ロータリー財団副委員長 福井 衛様からご提示の卓話資料「ロータリー財団の概要」を配布しております。
- ・「ロータリー財団寄付のお願い」を配布しております。ご協力、お願いします。
- ・12月6日に行います特別事業「障がい者のテニススクール」のポスター原案が出来ました。回覧しておりますのでご覧になって下さい。
- ・「ふくしだより」を回覧しております。
- ・昨日(10月31日)桜ヶ丘CCで行われた、消防3団体懇親ゴルフ会にて、当クラブ菊池 敏会員がホールインワンを達成されました。おめでとうございます。

【委員会報告】

◎出席報告

出席委員会 篠崎 一雄

会員総数 37名
 出席義務者数 36名(出席免除者2名)
 出席者数 22名
 欠席者数 14名(事前MU0名)
 出席率 61.11%
 補填MU:なし

10/18 最終訂正出席率 63.89%

◎ニコニコBOX

親睦活動委員会 大松 誠二

関岡 俊二 福井 衛様ようこそおいで頂きました。
 卓話よろしく願います。
 萩生田政由 地区R財団委員会副委員長福井様、本日の卓話宜しく願ひ致します。

- 菊池 敏 地区ロータリー財団副委員長 福井 衛様、ようこそ！足立さん、藤本さん、昨日はありがとうございました。
- 遠藤 二郎 菊池さん、ホールインワンおめでとう！ヤッタネ。福井様ようこそ。卓話宜しく願い致します。
- 足立潤三郎 昨日10/31 菊池会員が桜ヶ丘カントリークラブ 11番ホールにて見事ホールインワンをされました。おめでとうございます。
- 村上 久 福井様、卓話宜しく願い致します。菊池さん、ホールインワンおめでとうございます。
- 杉田 誠 福井様、卓話を宜しく願い致します。
- 津守 弘範 地区R財団副委員長の福井 衛さん、卓話宜しく願い致します。
- 伊澤ケイ子 福井様、ようこそ。卓話ご苦労様です。
- 海野 榮一 福井 衛様、ようこそ。卓話楽しみにしております。
- 加藤喜三郎 福井様、卓話宜しく願い致します。
- 杉野志保子 福井様、ようこそ。
- 大松 誠二 福井様、ようこそ。ロータリー財団についての卓話宜しく願い致します。

本日の合計¥18,000 (累計¥386,699)

◎その他委員会報告

*R財団委員会

副委員長 加藤喜三郎

・今月はロータリー財団月間です。皆さんのお手元には「ロータリー財団寄付のお願い」を届けさせていただいております。昨年までと同様、今年もご協力下さるようお願いいたします。

◎卓話『R財団について』

地区R財団副委員長 福井 衛様



ロータリー財団の使命は「地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行

し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」(2000年2月改訂)と定義されており、各ロータリークラブが地域で行う社会奉仕プログラムにも財団の資金が使える様になっています。ロータリー財団は、1947年にポール・ハリスが亡くなった際に全世界から多額の寄付が集まり飛躍的に発展しました。財団のプログラムは大きく次の3つ●教育的プ

ログラム(国際親善奨学金・世界平和フェローシップ・GSE(研究グループ交換)など)●人道的補助金プログラム(保健、飢餓追放および人間性尊重3H補助金・マッチンググラント(旧同額補助金)・地区補助金(CAP地域社会援助プログラム)・ボランティア奉仕活動補助金●ポリオプラス・プログラム・・・に分けられます。最初はロータリー財団国際奨学プログラムから始まり、その後人道的分野に拡がっていきました。なかでも・・・現在でも国際ロータリーの最優先事項であるポリオプラス・プログラムは1979年に、3Hプログラム(1978年創設・保健、飢餓追放および人間性尊重)の「保健」における最初のプロジェクトとしてフィリピンにおけるポリオ予防接種計画に対し75万ドルを支給するところから始まりました。ロータリーが最初に取り組んだ頃、世界中で年間35万件もの発症があったのが2003年にはわずか6カ国(1980年の発症件数を100とすると1)にまで減少するに至ったのですが・・・完全には撲滅でなくその後伝播して現在24カ国にまで増えてしまっている状況です。目標の2005年には完全撲滅に至らず・・・今後においても引き続きプログラム推進が必要です。ロータリー財団の資金は全世界のロータリアン、及びロータリアンの友人からの寄付だけで運営しています。財団への寄付には●年次寄付(ロータリアンから財団への毎年の継続的支援による貢献なしでは様々な財団プログラムの実施は出来ず、財団の事業計画を可能にしているのが年次寄付・・・ポールハリス・フェロー、ポールハリス・ソサエティー)●恒久基金への寄付(元金は据え置かれ運用益が各プログラムのために使われる・・・ベネファクター、大口寄付)●使途指定寄付(冠名基金・・・)等があります。世界全地区の年次寄付は集計され、シェアシステムのもとで●地区活動資金(DDF)・・・3年前の地区年次寄付の50%(国際親善奨学金、地区補助金、マッチンググラントの地区拠出分、ポリオプラスへの寄贈など)国際財団活動資金(WF)・・・3年前の地区年次寄付の50%(3H補助金、マッチンググラント、など)の2つの活動資金に分けられます。貴クラブでは過去に2度地区補助金を活用された経験がお有りですが毎年1件の新規プロジェクトの申請(同プロジェクトでも中3年開ければ再申込可)が出来ますので活用して下さい。当2750地区R財団委員会では「あなたも毎年\$100を」の活動の浸透・定着を受けて、地区目標60万ドル達成の実現に向けてご協力をお願いして参りたいと思っております。

◎お礼と点鐘

会長 関岡 俊二
(今週の担当 海野 榮一)